

包摂都市ネット・ジャパン 第2回連続企画ウェビナー 【感染症と都市のたたかい】

2020
ICN-Japan

コロナ禍の収束が見えない中、「自助・共助・公助の国づくり」という言説が物議を醸している。そんななか、都市自治体からはじまる新たな公助の実践が注目されている。本連続セミナーでは、先進的な取り組みを実践している都市自治体や民間セクターの事例を取り上げ、コロナ禍からの復興と新たな連帯の意義を議論する。

1 「アウトリーチ型自治体福祉の試み①」

八尾市における定額給付金訪問勧奨事業

報告者：八尾市地域福祉政策課長 岡本由美子氏

八尾市における新型コロナウイルス対策の特別定額給付金の申請を促すため行った未申請者への訪問勧奨で見てきた市民生活の実態と把握した情報を今後の地域の福祉政策に活かす基礎自治体の取り組みについて報告する。



申込締切：10月28日(水)

2 「アウトリーチ型自治体福祉の試み②」

ソウル市における訪れる行政事業

報告者：大阪市立大学都市研究プラザ博士研究員 湯山篤氏

電算システムを活用した韓国の生活困窮者探索システムには学ぶところも多い。一方、韓国のごうした生活困窮者探索システムには盲点もあった。電算システムとともに進められているアウトリーチ事業を紹介する。

①・②報告とも10月31日(土)14時～15時30分

申込締切：10月28日(水)

3 「コロナ禍の子どもを支えるネットワークの課題：住之江区におけるコロナ禍の子どもを支える取組みの現状/NPO法人み・らいず2の事例」

報告者：NPO法人み・らいず2 榎谷礼路氏/
大阪市住之江区 総務課 担当係長松永貴美氏

コロナ禍における大阪市住之江区の子どもを支える取組みの現状報告と、NPO法人み・らいず2による弁当配布から得た課題意識等について事例報告する。



11月28日(土)14時～15時30分

申込締切：11月25日(水)

4 東アジア包摂都市国際シンポジウム

東アジア包摂都市国際シンポジウム(オンライン開催)

午前と午後に分かれ、ソウル、台北、香港からのシンポジストを交えて議論する。



12月12日(土)予定

5 「泉北ニュータウンにおける物販飲食サービス提供支援事業について」

報告者：堺市ニュータウン地域再生室参事 古下政義氏

高齢化と人口減少が進む泉北ニュータウンの課題である買い物支援に加え、新型コロナ対策として新しい生活様式にも対応するため、移動スーパーやキッチンカーの出店により、身近な場所で完結する暮らしの実証実験について事例報告する。



1月23日(土)14時～15時30分

申込締切：1月20日(水)

コーディネーター：全 泓奎、大阪市立大学都市研究プラザ教員 主催：包摂都市ネットワークジャパン

「QR コード」から「事前登録」をお願いします。
後日、当日の「ZOOM」ID・パスワードの情報が送信されます。

後援：大阪市立大学都市研究プラザ

包摂都市ネットワークジャパン事務局 E-mail: icn2018@gmail.com

※本連続セミナーは、2020年度大阪市立大学共同利用・共同研究拠点「先端的都市研究拠点」およびトヨタ財団国際助成プログラム「東アジア包摂都市ネットワークの構築：引き裂かれた都市から包摂型都市へ(研究代表：全 泓奎)」による助成を得て実施するものです